

システムキッチン組立・設置業者様へのお願い

本書全工程および施工説明書(配管接続用)の⑥までの取り付けを実施してください。

施工説明書(配管接続用)の⑦以降は、水道工事店様へご依頼ください。その際、本書および施工説明書(配管接続用)を一緒にお渡しください。

TOTO

アルカリ7 ビルトインタイプ(イオン水生成器) TEK513B2型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	○は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	●は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

 警告	
 禁止	指定する電源(AC 100V)以外では使用しない 火災の原因になります。
	電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加熱したりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
	電源コードの加工(切断・継ぎ足し)を行わない 火災や感電の原因になります。
	ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因になります。
	コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

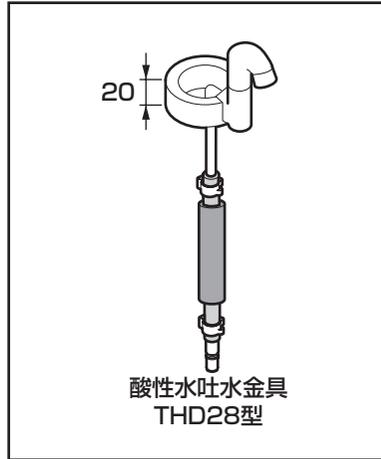
 警告	
 禁止	水をかけない 電気製品ですので、火災や感電の原因になります。
	火のついたローソク、蚊取り線香、たばこなどの火気や、揮発性の引火物を近づけない 火災や変形のおそれがあります。
 分解禁止	屋内用のため、屋外には設置しない 感電や故障の原因になります。
	絶対に分解したり、修理・改造は行わない 火災や感電の原因になります。 ※アルカリ7は薬機法(旧薬事法)の対象機器です。修理・改造は罰則対象になります。
	 接触禁止 ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。
 必ず実行	電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く コードを引っ張ると、プラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。

 注意	
 禁止	強い力や衝撃を与えない 破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	湯側には接続しない アルカリ7ビルトインは水専用です。 故障や水漏れの原因になります。
	凍結が予想される場所では使用しない 部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。

2

取り付け前に

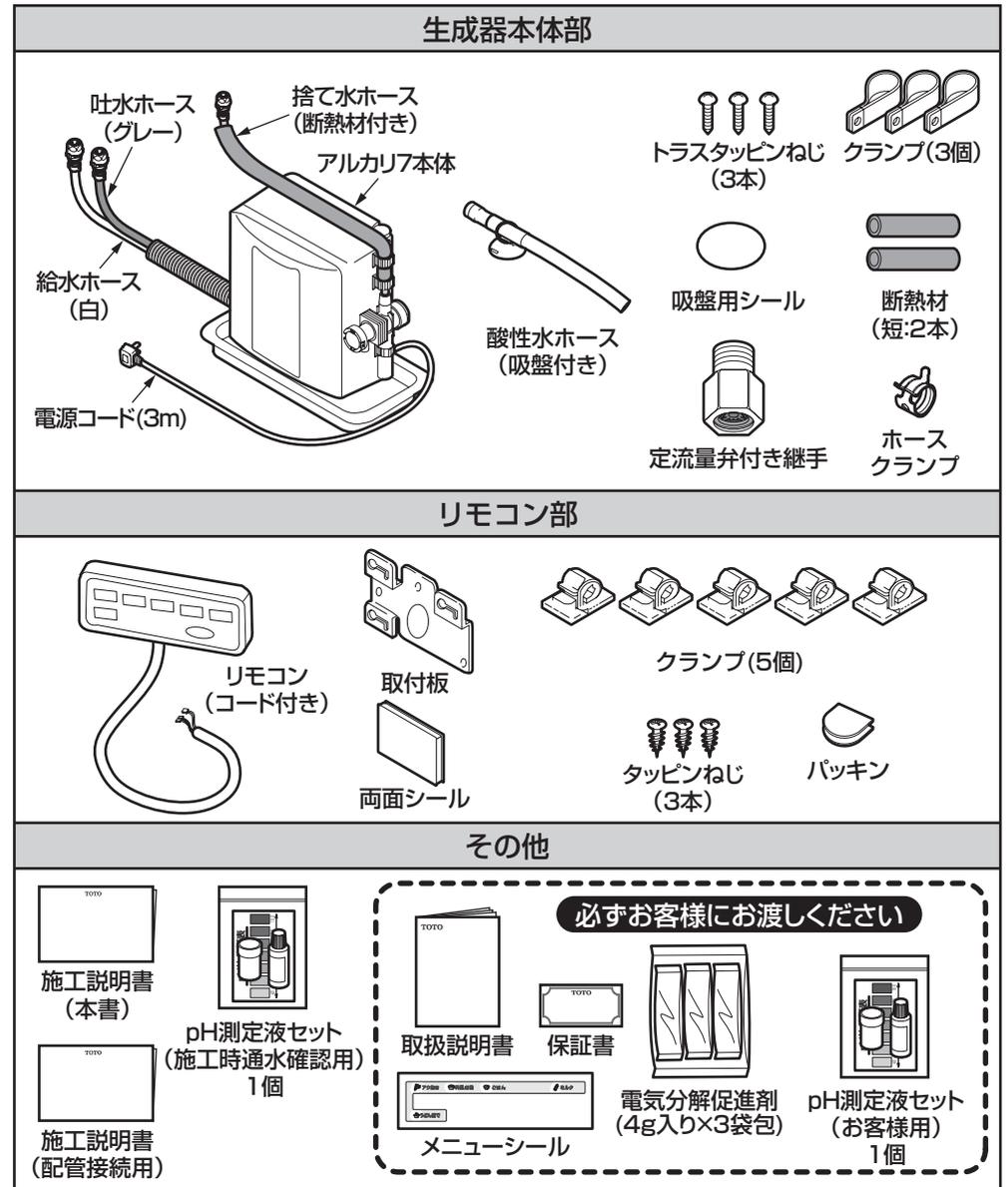
- 本商品はTOTO浄水器専用自在水栓(TK308A型)とセットで使用することで、ビルトインタイプのアルカリ7として使用することができます。
- 取り付けの際は、この説明書と共に付属の施工説明書(配管接続用)や、浄水器専用自在水栓およびアルカリ専用混合栓の施工説明書をよくお読みのうえ、取り付けてください。各説明書に記載の、種々の傷害および物的損害が発生することがあります。
- 包装前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。
- 酸性水吐水金具(別売品:THD28型)をご用意ください。
- 酸性水吐水金具を取り付けると、既設水栓に対して水栓本体の高さが約20mm高くなります。既設水栓の上に棚などがある場合は、スパウト操作などに支障がないか確認してください。



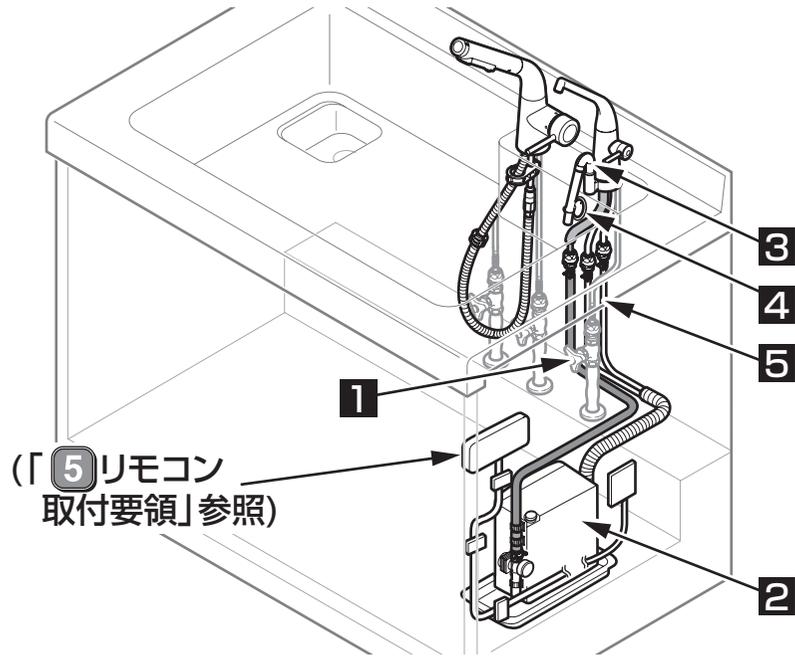
3

部品の確認

次の部品があることを確認してください。



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



1 止水栓を閉める

2 アルカリ7本体の設置

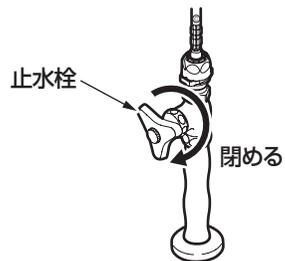
3 酸性水ホースの取り付け

4 吸盤用シールの使用

5 ホースの接続

1 止水栓を閉める

止水栓を閉める。



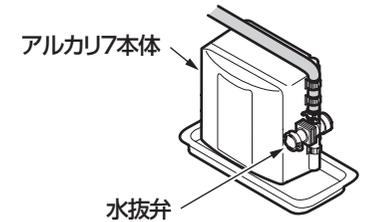
重要

2-1 アルカリ7本体の設置

下図を参考にし、アルカリ7本体をキャビネット内に設置する。

注意

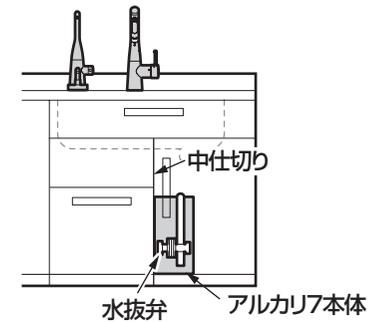
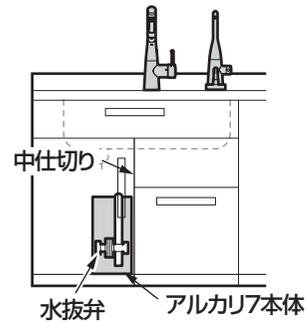
水抜弁が手前になるように設置してください。



<すべり台シンクの場合>

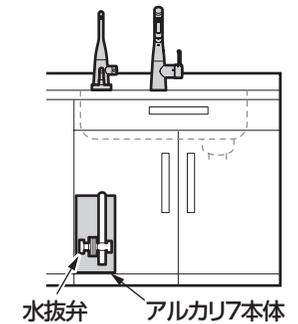
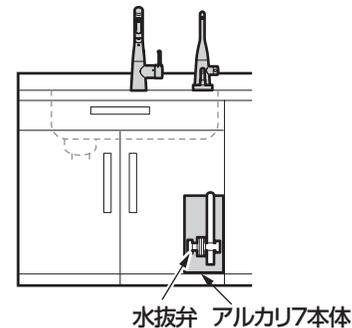
片開き扉 シンク左仕様の場合

片開き扉 シンク右仕様の場合



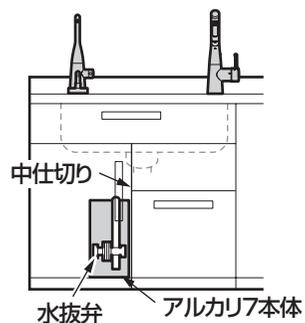
両開き扉 シンク左仕様の場合

両開き扉 シンク右仕様の場合

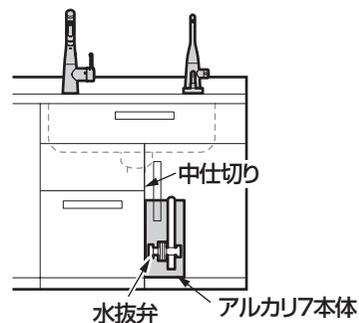


<スマイルクリーンシンク、スペースアップシンクの場合>

片開き扉 シンク左仕様の場合

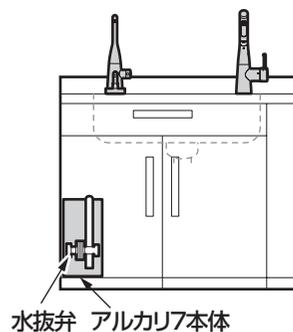


片開き扉 シンク右仕様の場合

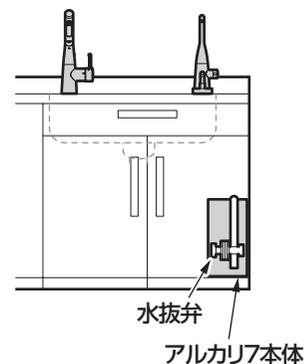


必ず中仕切り側に設置ください。

両開き扉 シンク左仕様の場合



両開き扉 シンク右仕様の場合



必ず浄水器専用水栓側壁に設置ください。

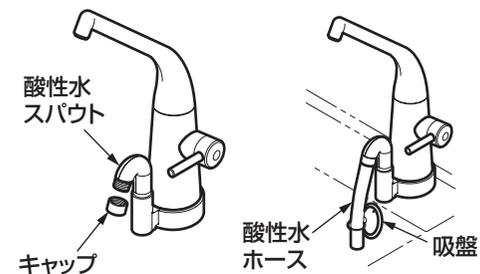
3 酸性水ホースの取り付け

酸性水スパウト先端のキャップを外し、酸性水ホースを取り付け、吸盤でシンク内に固定する。

注意

酸性水ホースは必ず取り付けてください。
活性炭加熱洗浄中は酸性水ホースより蒸気が出ます。

TK308A型



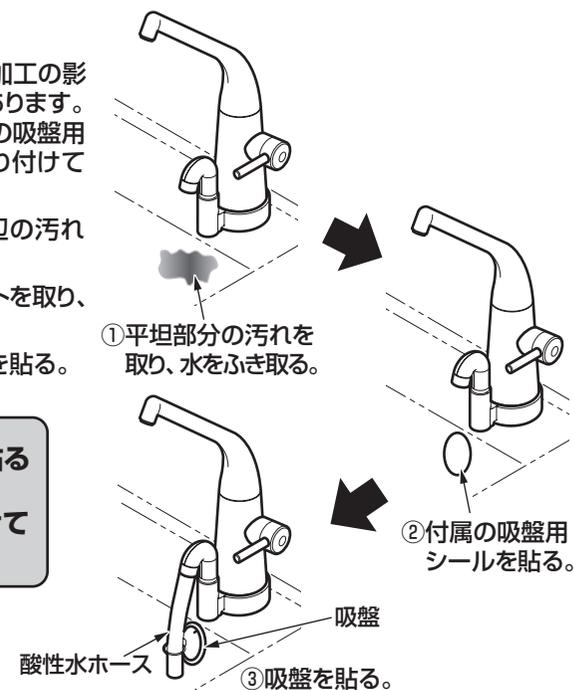
4 吸盤用シールの使用

シンク表面のコーティングや凹凸加工の影響により、吸盤が付かないことがあります。その場合には、以下の手順で付属の吸盤用シールを貼り、その上に吸盤を貼り付けてください。

- ①シンク内の吸盤を貼る場所周辺の汚れを落とし、水分をふき取る。
- ②付属の吸盤シールのはく離シートを取り、シールをシンクに貼る。
- ③酸性水ホースを取り付け、吸盤を貼る。

注意

- シールを何度もはがして貼ると粘着性が低下します。
- シールは平面部に貼り付けてください。



5 ホースの接続

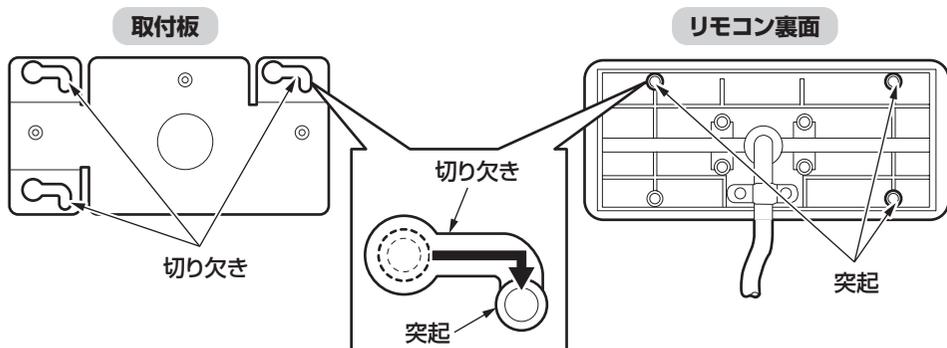
付属の「施工説明書(配管接続用)」に従い、ホースを接続する。

裏面へつづく

5 リモコン取付要領

6～9の中から該当のものを確認し、指示内容に従って、取り付けてください。

リモコンを取付板に取り付ける際は、リモコン裏面の突起(3カ所)を取付板の切り欠き(3カ所)に引っ掛け、右へずらし、下におろしてください。



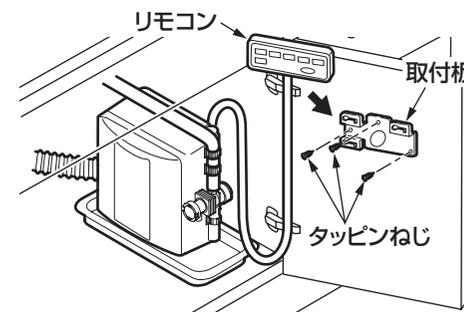
6 扉取り付けの場合【両開き扉シンクキャビネット】

1 リモコンの取り付け

<キャビネットの扉材質が木製の場合>

付属のタッピンねじ3本で取付板を取り付け、取付板にリモコンをはめ込む。

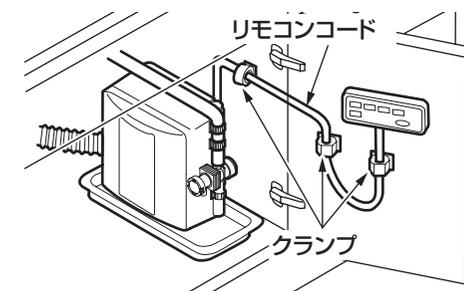
※扉材質が金属製の場合は、取り付けできません。
金属製の場合は、側板に設置してください。
(8「側板取り付けの場合」参照)



2 リモコンコードの固定

①リモコンコードを右図のように上下にたるませ、扉の開閉に支障のないようにクランプで取り付ける。

②リモコンとアルカリ7本体のコネクターを接続する。

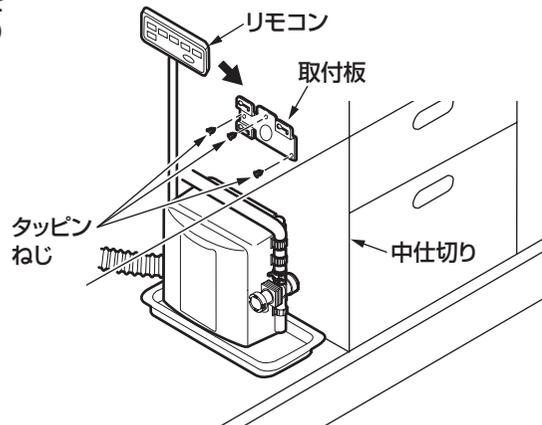


7

中仕切り取り付けの場合 [片開き扉シンクキャビネット]

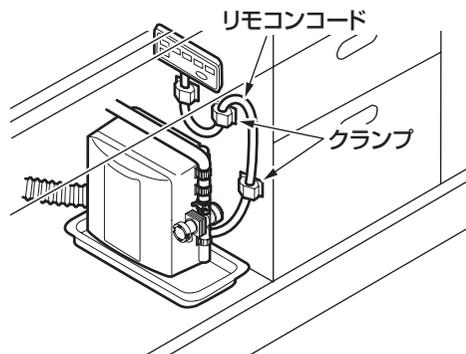
1 リモコンの取り付け

付属のタッピンねじ3本で、アルカリ7を設置した方の中仕切りに、取付板を取り付け、取付板にリモコンをはめ込む。



2 リモコンコードの固定

①リモコンコードを右図のように上下にたるませ、クランプで取り付ける。



②リモコンとアルカリ7本体のコネクターを接続する。

8-1

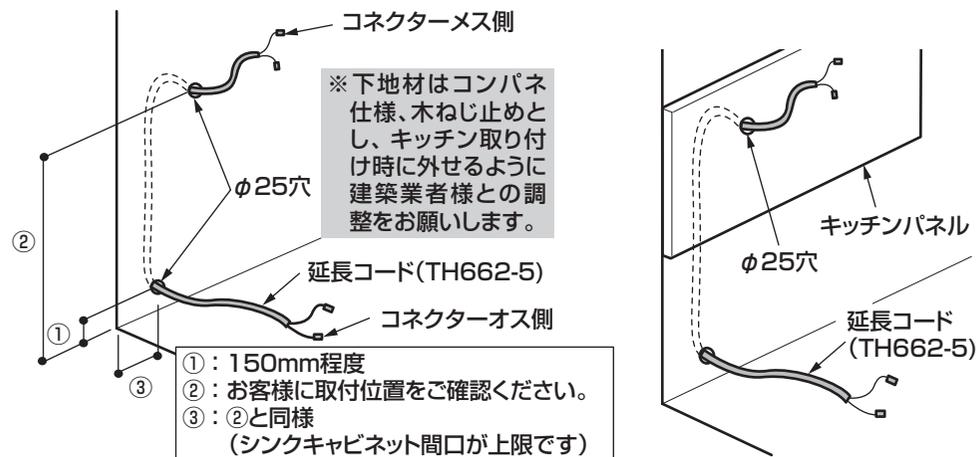
キッチンパネル面への取り付けの場合

※キッチン取り付け完了後の後付けはできませんのでご注意ください。

1 延長コードの取り付け

①建築躯体の下地壁に図のように穴をあけ、延長コード(別途手配品TH662-5)を通す。

②キッチンパネル取り付け時に下地壁の下穴にあわせ、キッチンパネルにφ25の穴をあけ、延長コードを引き込む。

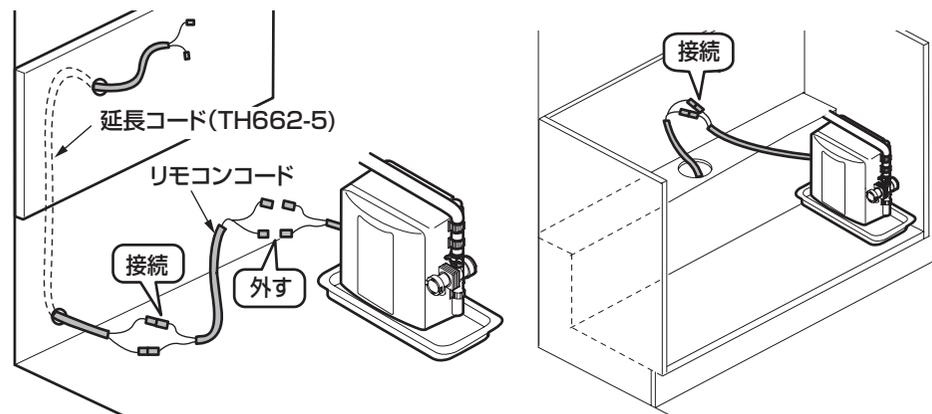


- ①: 150mm程度
- ②: お客様に取付位置をご確認ください。
- ③: ②と同様 (シンクキャビネット間口が上限です)

2 リモコンコードの接続

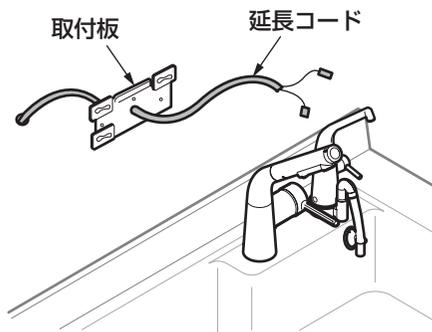
①アルカリ7本体からリモコンコードを取り外し、延長コードの下側にリモコンコードを接続する。

②シンクキャビネット取り付け後、点検口を切り欠くか、排水管用の穴を介してキャビネット内にリモコンコードを引き込み、アルカリ7本体と接続する。



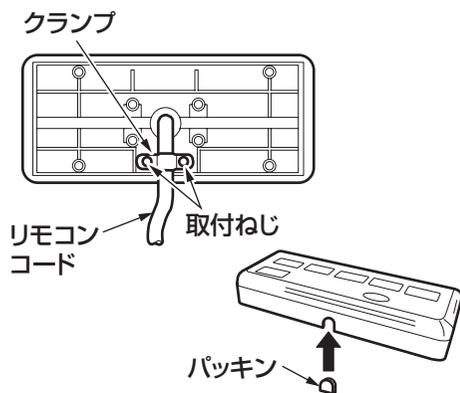
3 リモコンの取り付け

①延長コードを取付板の穴を介して引き込む。

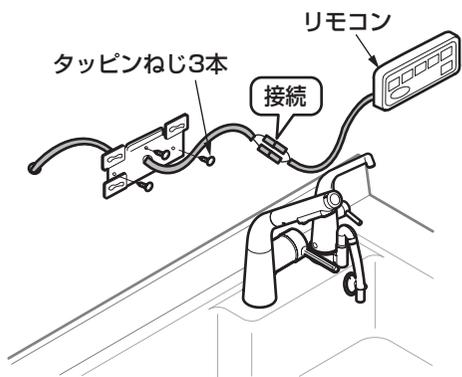


②リモコンコードの取付ねじとクランプを外す。

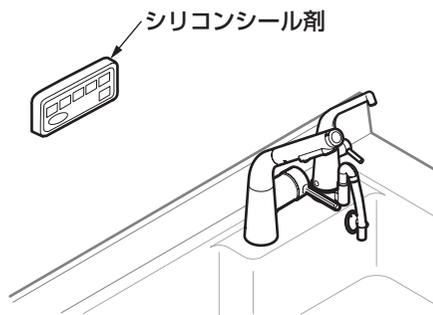
③リモコン下部の切り欠きにパッキンを取り付ける。



④キッチンパネルに下穴(φ6)をあけ、現場手配のタッピンねじ3本で取付板を固定し、延長コードとリモコンを接続する。



⑤リモコンコードを穴に通し、取付板にリモコンをはめ込み、全周にシリコンシール剤でシールを行う。



※付属のタッピンねじは短いので、ねじ部15mm以上のねじを別途準備してください。

※付属の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。